

学校全体で取り組む食育の進め方

ー学級活動(2)で進める食育の授業づくりを中心にー

福岡教育大学教職大学院
教授 脇田 哲郎



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 食育とは何か
- 2 学校で作成する食育の全体計画
- 3 食に関する授業づくりについて
- 4 学級活動(2)で進める食に関する指導
- 5 演習
「食育プランニングシートを活用した授業づくり」

1 食育とは何か

食育って何？（文部科学省Webページ：食べるが価値）

朝ごはん
ちゃんと
食べて
る？

みんなで
一緒に食
事して
る？

食べる時
挨拶して
る？

食事のお
手伝いし
てる？

◆食育で身に付けること

- ・ 食べ物を大事にする感謝の心

感謝の心

- ・ 好き嫌いしないで栄養バランスよく食べること

食事の重要性

- ・ 食事のマナーなどの社会性

社会性

- ・ 食事の重要性や心身の健康

心身の健康

- ・ 安全や品質など食品を選択する能力

食品を選択する能力

- ・ 地域の産物や歴史など食文化の理解

食文化



1 食育とは何か

食育の視点：食に関する指導の手引き

【食事の重要性】

食事の重要性，食事の喜び，楽しさを理解する。

【心身の健康】

心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し，自ら管理していく能力を身に付ける。

【食品を選択する能力】

正しい知識・情報に基づいて，食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。

【感謝の心】

食べ物を大事にし，食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。

【社会性】

食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

【食文化】

各地域の産物，食文化や食に関わる歴史等を理解し，尊重する心をもつ。

1 食育とは何か

望ましい食習慣を形成するための資質や能力

食育って何？（文部科学省Webページ：食べるが価値）

朝ごはん
ちゃんと
食べて
る？

みんなで
一緒に食
事して
る？

食べる時
挨拶して
る？

食事のお
手伝いし
てる？

◆食育で身に付けること

- ・ 食べ物を大事にする感謝の心

感謝の心

- ・ 好き嫌いしないで栄養バランスよく食べること

食事の重要性

- ・ 食事のマナーなどの社会性

社会性

- ・ 食事の重要性や心身の健康

心身の健康

- ・ 安全や品質など食品を選択する能力

食品を選択する能力

- ・ 地域の産物や歴史など食文化の理解

食文化

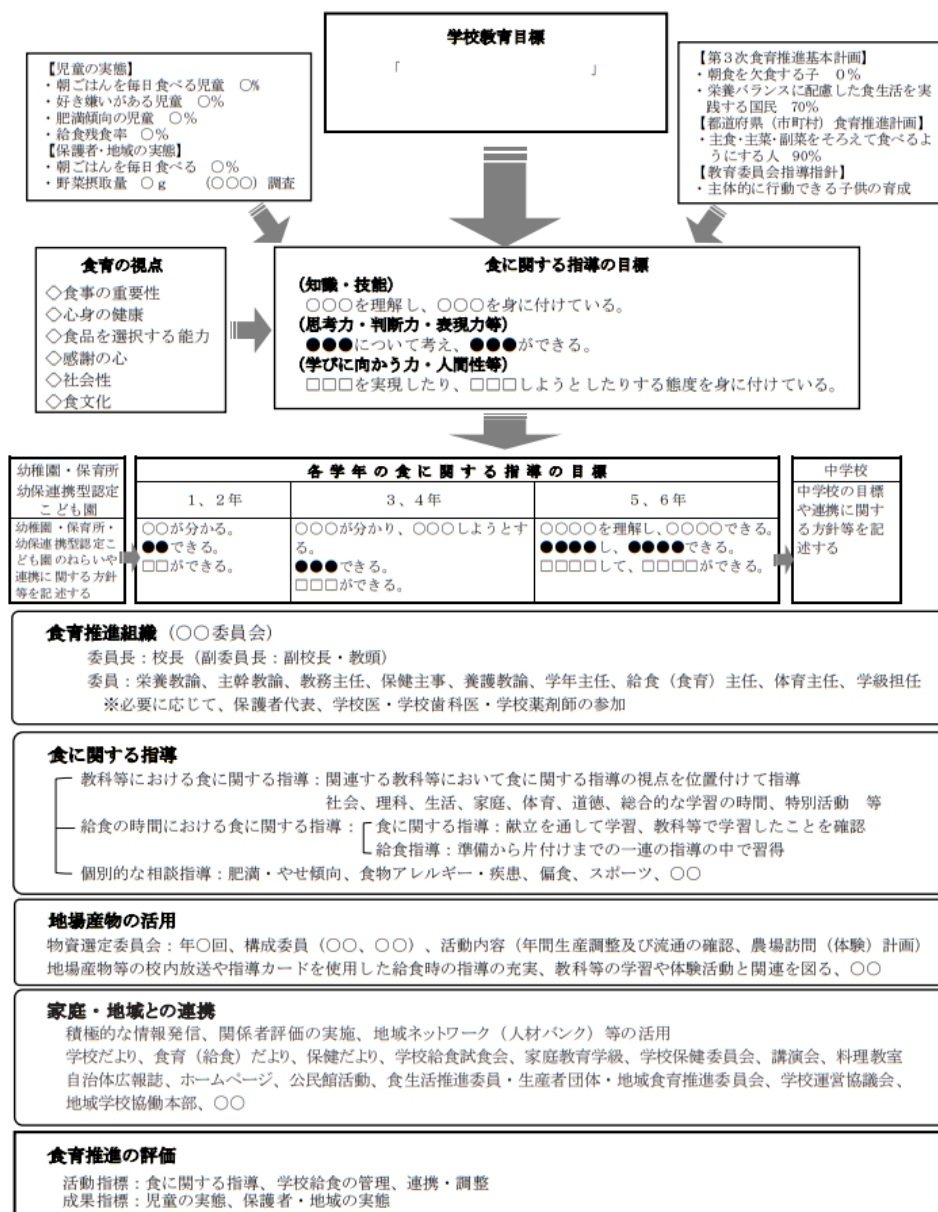
2 学校で作成する食育の全体計画

学校で作成する食育の全体計画

教育課程の編成及び実施に当たっては、学校保健計画、学校安全計画、食に関する指導の全体計画、いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針など、各分野における学校の全体計画等と関連付けながら、効果的な指導が行われるように留意するものとする。

学習指導要領第1章第5の1のイ

2 学校で作成する食育の全体計画



食育に関する指導の全体計画①

文部科学省

食に関する指導の手引

－第二次改訂版－（平成31年3月）

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1292952.htm



2 学校で作成する食育の全体計画

食育に関する指導の全体計画

食育基本調査などから
見えてくる児童生徒
や保護者、地域の課題

- ・肥満児の児童 〇%
- ・給食残食率 〇%
- 【保護者・地域の実態】
- ・朝ごはんを毎日食べる 〇%
- ・野菜摂取量 〇g (〇〇〇) 調査

その学校が、どの
ような子供を育てよ
うとしているのか

学校の食育推進の
基本となる国や県、
自治体などの推進計
画等（第四次食育推
進基本計画）

- 【都道府県 食育推進計画】
- ・主食・主菜をそろえて食べるよ
うにする 90%
- 【教育委員会指導指針】
- ・主体的に行動できる子供の育成

食育の視点

- ◇食事の重要性
- ◇心身の健康
- ◇食品を選択する能力
- ◇感謝の心

食に関する

- (知識・技能)
〇〇〇を理解し、〇〇〇を身に付けてい
- (思考力・判断力・表現力等)
●●●について考え、●●●ができる。
- (学びに向かう力・人間性等)

「食育の視点」を意図的、計
画的に指導する。

その学校の教育目標を受け
て、その学校で推進しようと
する食育の目標を資質・能力
で示す。

- 知識・技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力・人間性等

2 学校で作成する食育の全体計画

食

入学してくる児童が在籍した幼稚園や保育園、認定こども園でどのような食育が行われていたのかをリサーチする。

学年の発達の段階や実態に応じて学年目標を設定する。その目標を具現化する食に関する指導を行う教科や特別活動等を明らかにする。

児童が進学する中学校への接続を明らかにする。

食育推進組織（〇〇委員会）

委員長：校長

委員：栄養教諭

※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の参加

学校で食育推進を行う組織を明確にする。

・ 構成メンバー ・ 開催時期 等

主任、学級担任

食に関する指導

教科等における食育

給食の時間における食育

個別的な相談指導

食に関する指導を行う場を明確にする。

・ 教科等や総合的な学習の時間、特別活動等
・ 給食の時間の指導
・ 個別指導

等

2 学校で作成する食育の全体計画

食育に関する指導の全体計画作成上の留意点

地場産物の活用

物資選定委員会：年〇回、構成委員（〇〇、〇〇）、活動内容（年間生産調整及び流通の確証、展物訪問（採集）計画）
地場産物等の校内放送や指導カードを使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る、〇〇

- ・ 給食に活用する地場産物を決定するまでのシステムを明確にする
- ・ 学校給食での地場産物の取り扱いなど

家庭・地域との連携

積極的な情報発信、関係
学校だより、食育（給食）だ
自治体広報誌、ホームページ
地域学校協働本部、〇〇

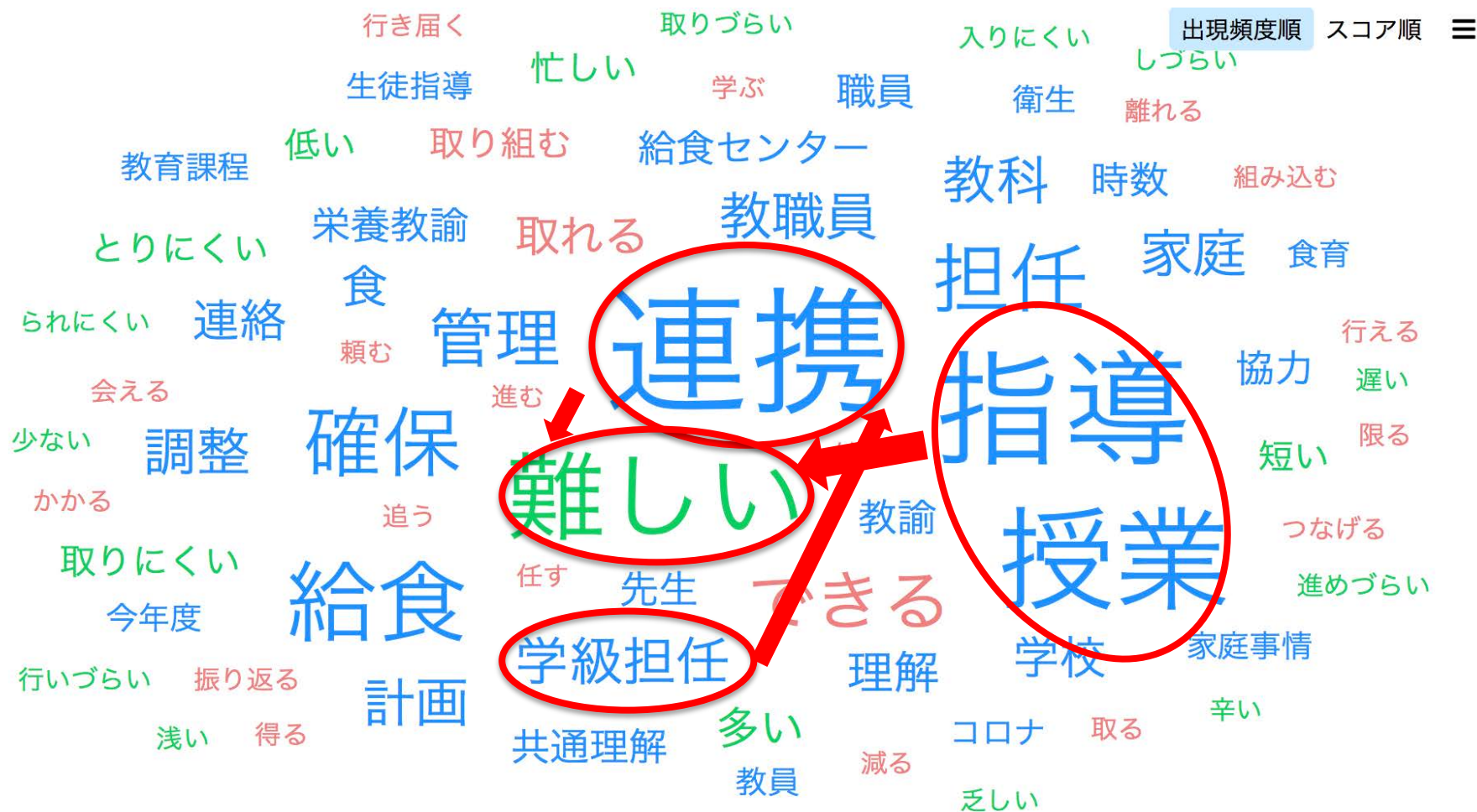
- ・ 食に関する授業に協力してもらう生産者などとの連絡の窓口を明確にする。
- ・ 家庭との連携の具体的な方法
- ・ PTAや地域との連携の具体的な方法

食育推進の評価

活動指標：食に関する指導、学
成果指標：児童の実態、保護者

- ・ 自校の食育推進の評価についていつ頃、どのような方法で評価するのかを明確にする。

3 食に関する授業づくりについて



3 食に関する授業づくりについて

学校がチームとなって食育を推進する視点

① 児童生徒の発達の段階を共有する視点

授業を行おうとする児童生徒が、どのような発達の段階にあるのかを共有し、その段階に則した教材研究をチームで行う。

② 学習指導要領に示された「食育」を共有する視点

学習指導要領に示された「食育」について学年や教科の教員と共有し、栄養教諭等の専門性を活かして質の高い食に関する指導を行う。

各教科には、各教科で育成する資質・能力がある。

3 食に関する授業づくりについて

視点①：児童生徒の発達の段階の共有

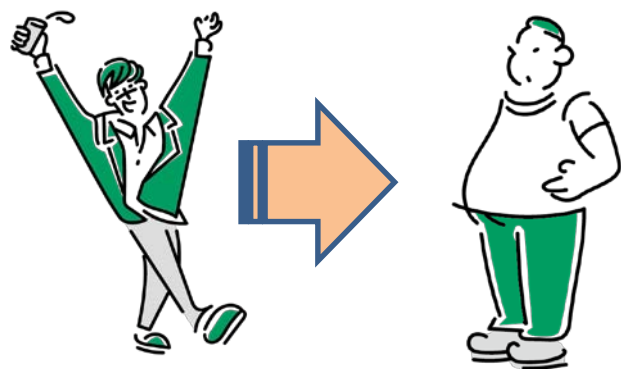
橋本等（2011）は、小学校1年生を対象とした授業（学級活動「たべものとなかよくなろう」）では、見る、触る、臭う、味わう等五感によって感じ、体験することによって知識、概念を習得し、学習が進みやすい時期であるため直感的思考に着目した授業を行った。



3 食に関する授業づくりについて

視点①：児童生徒の発達の段階の共有

高石（1993）は「一般的な食生活指導の重点目標である成人病予防という観点からも明らかなように、『リスクの時間的遠隔性』という考え方が重要である。つまり、年少の頃からの生活習慣が将来の健康状態のレベルに大きな影響を及ぼすということ、できるだけ早い時期から理解させることが必要である。」と述べている。そして、この「健康のリスクの時間的遠隔性」を理解できるようになる中学生時代の健康教育に脚光を浴びせなければならないとも述べている。



見えない世界の質を捉えたり、
現象の背景にある要因に着目できる
ようになる中学校から高校生の
時期
(藤村, 2015)

3 食に関する授業づくりについて

視点②：小学校学習指導要領に示された「食育」

教科等

食育について学ぶことが示されている内容

家庭科

「B 衣食住の生活」

エ 食に関する指導については、家庭科の特質に応じて、食育の充実に資するよう配慮すること。また、第4学年までの食に関する学習との関連を図ること

体育科

(10) 保健の内容のうち運動、食事、休養及び睡眠については、食育の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結び付くよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導においても関連した指導を行うようにすること。

学級活動(2)

オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

3 食に関する授業づくりについて

視点②：中学校学習指導要領に示された「食育」

教科等

食育について学ぶことが示されている内容

技術・
家庭科

- (3) 内容の「B衣食住の生活」については、次のとおり取り扱うものとする。
オ 食に関する指導については、技術・家庭科の特質に応じて、食育の充実に資するよう配慮すること。
- 2 家庭分野 B 衣食住の生活 「食生活」
- (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- (3) 日常食の調理と地域の食文化

保健
体育科

- (3) 内容の(1)のアの(イ)及び(ウ)については、食育の観点も踏まえつつ健康的な生活習慣の形成に結び付くように配慮するとともに、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康との関わりについて取り扱うことにも配慮するものとする。 また、がんについても取り扱うものとする。
- 注) 内容の(1)は、「健康な生活と疾病の予防」ということ。
- ア) は「健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。」ということ。
- イ) は「健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和の取れた生活を続ける必要があること。」ということ。
- ウ) は「生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和の取れた生活を実践することによって予防できること。」ということ。

学級活動
(2)

- オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

◆学級活動の目標

学級・ホームルーム（以下、HR）や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級・HRでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

4 学級活動(2)で進める食に関する指導		
学級活動とは		
学級活動(2)小学校版	学級活動(2)中学校版	学級活動(2)高等学校版
この内容は、日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関するもので、児童に共通した課題であるが、一人一人の理解や関心を深め、意思決定して実践を行う。	この内容は、日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康や安全に関するもので、生徒に共通した課題であるが、一人一人の理解や関心を深め、意思決定して実践を行う。	この内容は、日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康や安全に関するもので、生徒に共通した課題であるが、一人一人の理解や関心を深め、意思決定して実践を行う。
◆共通した課題 学級のみんなで一斉に授業は行うが、学級活動(2)のようにみんなで目標や目標達成の手段や方法、役割分担などを話し合って決める共同の課題ではなく、一人一人が自分に最適な解決方法などを意思決定し、決めた事を個々に実践する課題のこと。	◆共通した課題 学級のみんなで一斉に授業は行うが、学級活動(2)のようにみんなで目標や目標達成の手段や方法、役割分担などを話し合って決める共同の課題ではなく、一人一人が自分に最適な解決方法などを意思決定し、決めた事を個々に実践する課題のこと。	◆共通した課題 学級のみんなで一斉に授業は行うが、学級活動(2)のようにみんなで目標や目標達成の手段や方法、役割分担などを話し合って決める共同の課題ではなく、一人一人が自分に最適な解決方法などを意思決定し、決めた事を個々に実践する課題のこと。
例) みんなで好き嫌いをなくすことの大切さを学習しても、個々が乗り越える課題(苦手な物)はそれぞれにある。	例) みんなで好き嫌いをなくすことの大切さを学習しても、個々が乗り越える課題(苦手な物)はそれぞれにある。	例) みんなで好き嫌いをなくすことの大切さを学習しても、個々が乗り越える課題(苦手な物)はそれぞれにある。

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

学級活動(2)とは

学習指導要領小学校解説	学習指導要領中高等学校解説
この内容は、日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関するもので、児童に共通した問題であるが、一人一人の理解や自覚を深め、意思決定し、実践を行う	この内容は、日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康や安全に関するもので、生徒に共通した問題であるが、一人一人の生徒の理解や自覚を深め、実践を行う。それに基づく
◆共通した問題 学級のみinnで一斉に授業は行うが、学級活動(1)のようにみんなで目標や目標達成の手段や方法、役割分担などを話し合って決める共同の問題ではなく、一人一人が自分に最適な解決方法などを意思決定し、決めた事を個々に実践する問題のこと。 例) みんなで好き嫌いをなくすことの大切さを学習しても、個々が乗り越える課題(苦手な物)はそれぞれにある。	
意図的、計画的に指導する必要がある。	意図的、計画的に指導する必要がある。 <青字高校>

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

◆学級活動の目標

学級・ホームルーム（以下，HR）や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，学級・HRでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

4 学級活動(2)で進める食に関する指導	
小中学校の学級活動(2)の内容	
小学校	中学校
ア 基本的な生活習慣の形成 イ より良い人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を超えた学校給食と望ましい食習慣の形成	ア 自他の個性の理解と尊重，より良い人間関係の形成 イ 男女相互の理解と協力 ウ 思春期の不安や悩みの解決，性的な発達への対応 エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 オ 食育の観点を超えた学校給食と望ましい食習慣の形成

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

小中学校の学級活動(2)の内容

小学校	中学校
ア 基本的な生活習慣の形成 イ より良い人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	ア 自他の個性の理解と尊重, より良い人間関係の形成 イ 男女相互の理解と協力 ウ 思春期の不安や悩みの解決, 性的な発達への対応 エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

学級活動(2)で進める食に関する指導の題材一覧例

視点 学年	食事の 重要性	心身の 健康	食品を 選択する 能力	感謝の心	社会性	食文化
1年	なんでも たべる		やさいと なかよく		おはしの もちかた	
2年		げんきな 体		やさいを そだてる		ちいきの 食べもの
3年	よくかん で食べる	おやつ のとり方		命をいた だく		
4年	大切な朝 食			食べ物へ の感謝		きょうど の料理
5年		食生活の 見直し	1汁3菜 の栄養素		食事の作 法	
6年		1日の献 立		食品ロス や食量自 給率		世界の 料理

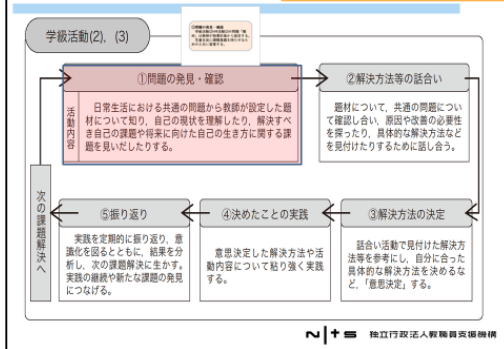
4 学級活動(2)で進める食に関する指導

小中が系統的に学ぶ学活(2)題材一覧表

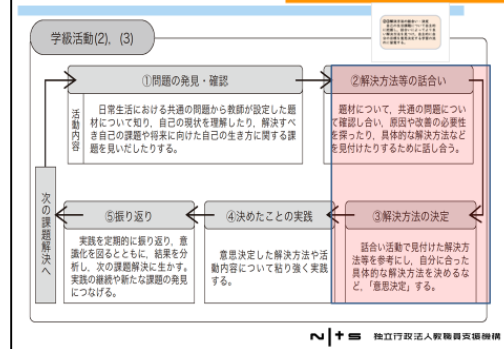
目 標 学 年	食事の重要性	心身の健康	食品選択能力	感謝の心	社会性	食文化
第1学年	給食大すき		野菜と友達		初めての給食	
第2学年		めざせ！ 元気うんち		給食有難う	食事のマナー	
第3学年	苦手な食べ物と仲良く		給食に使われる野菜		協力した給食の準備	
第4学年		朝食の役割		食事への感謝		私たちの町の伝統食
第5学年	自分にもできる朝食		食の安全			正しいはしの使い方
第6学年		健康と食事	栄養のバランス		楽しい会食	
中学1年	自分で作る弁当	食事と安全・衛生				給食と地域との繋がり
中学2年			食品に含まれる栄養素と働き	自分にできる食品ロス対策		食事と文化
中学3年	便利な食環境と自分の食生活		受験と食事		環境や資源に配慮した食生活	

4 学級活動(2)で進める食に関する指導

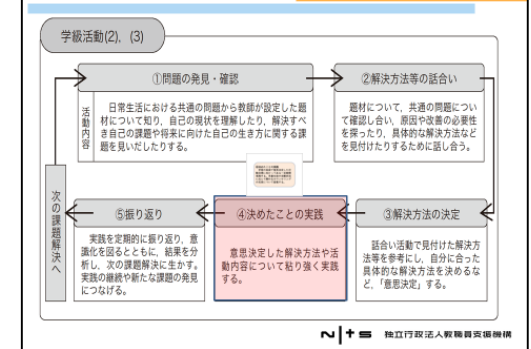
4. 学級活動(2)で進める食に関する指導 小学校学級活動(2)の学習過程



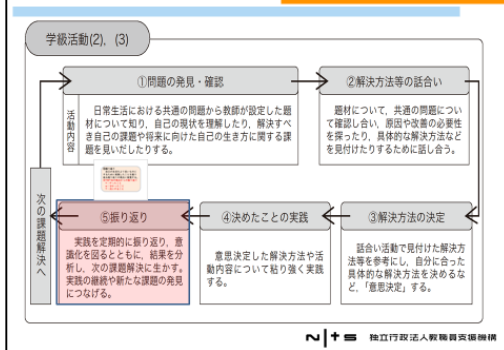
4. 学級活動(2)で進める食に関する指導 小学校学級活動(2)の学習過程



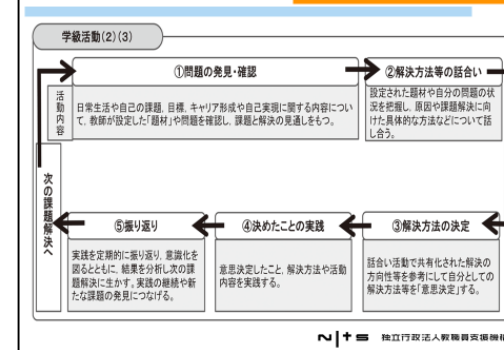
4. 学級活動(2)で進める食に関する指導 小学校学級活動(2)の学習過程



4. 学級活動(2)で進める食に関する指導 小学校学級活動(2)の学習過程

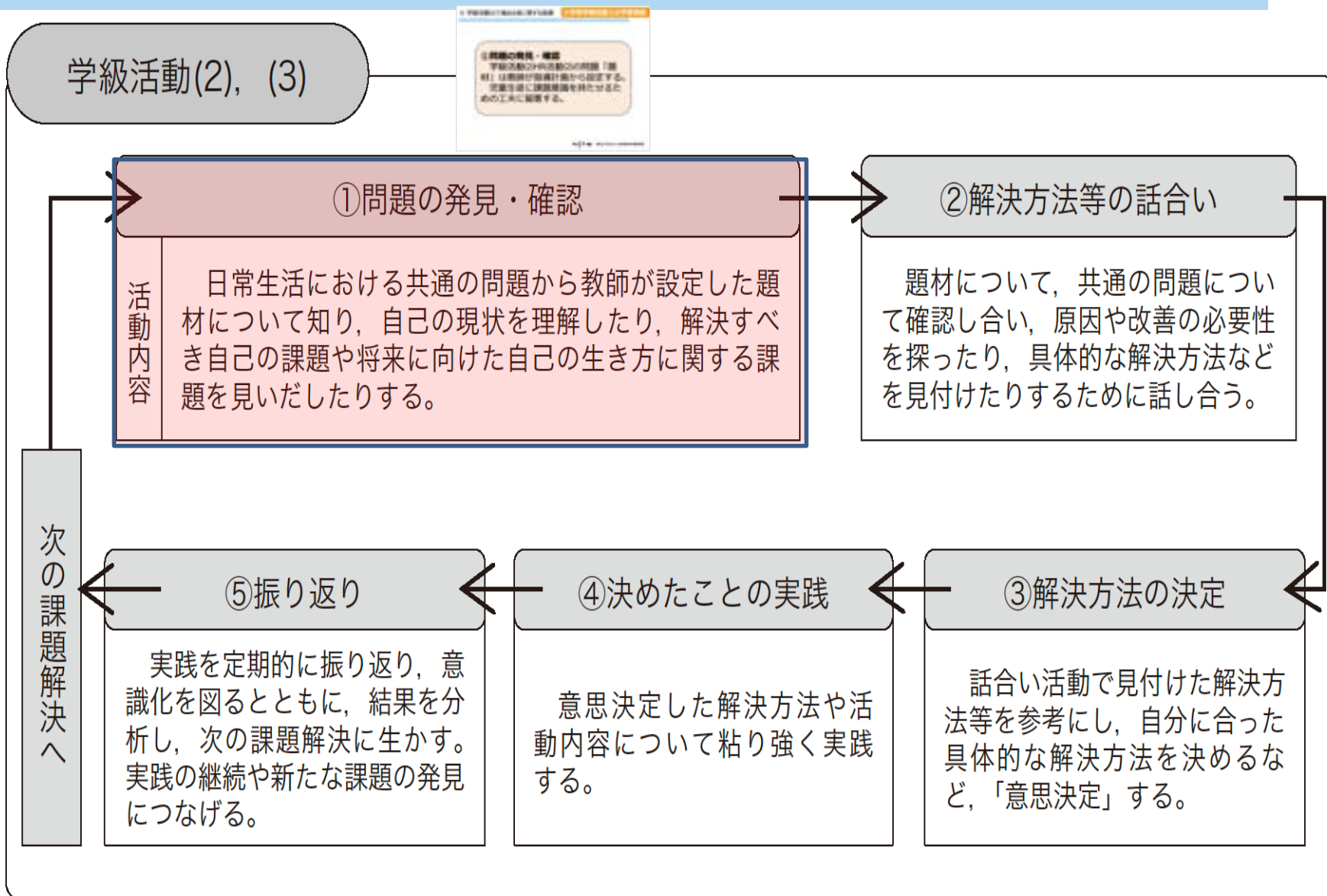


4. 学級活動(2)で進める食に関する指導 中学校学級活動(2)の学習過程



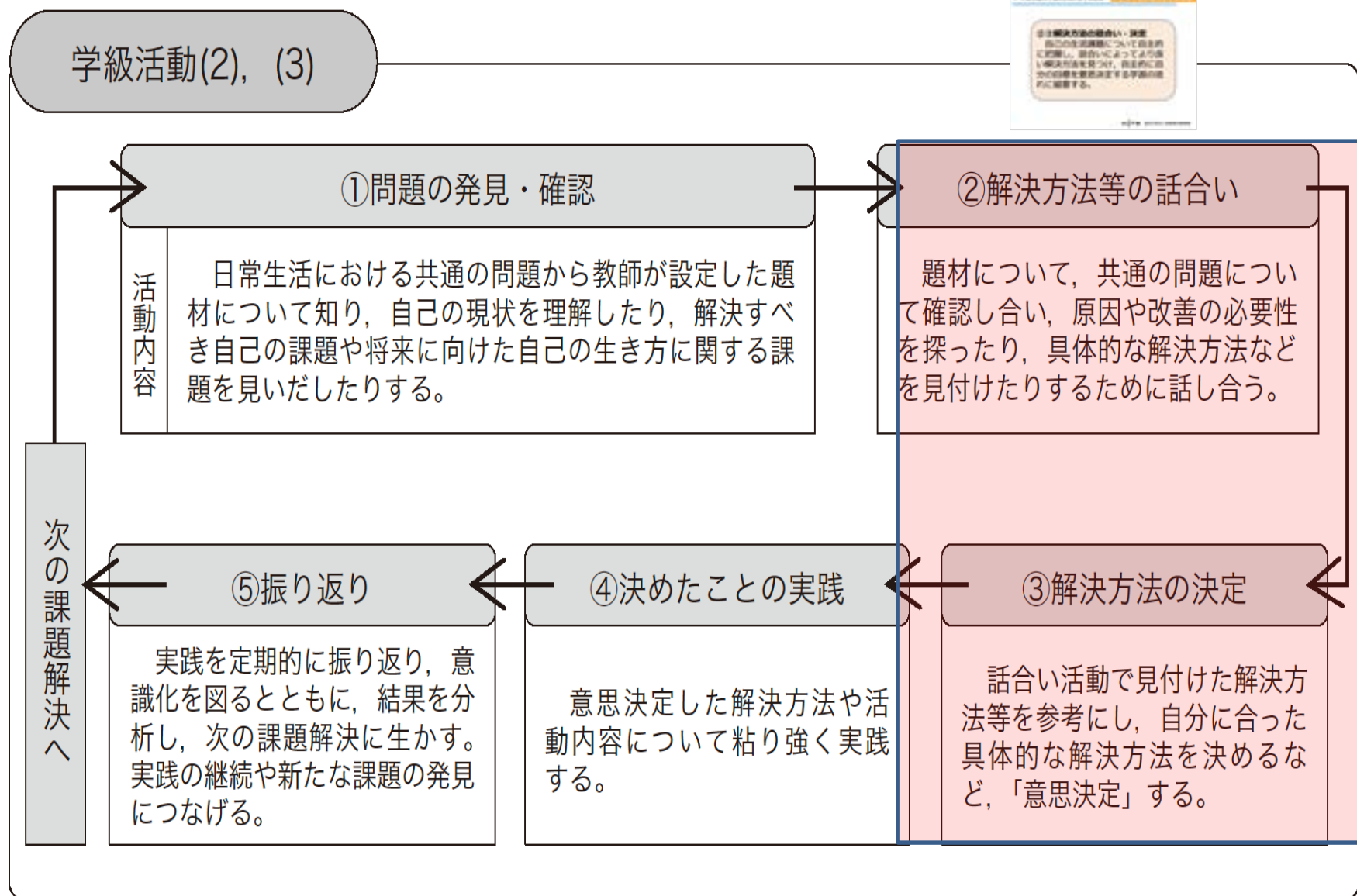
4. 学級活動(2)で進める食に関する指導





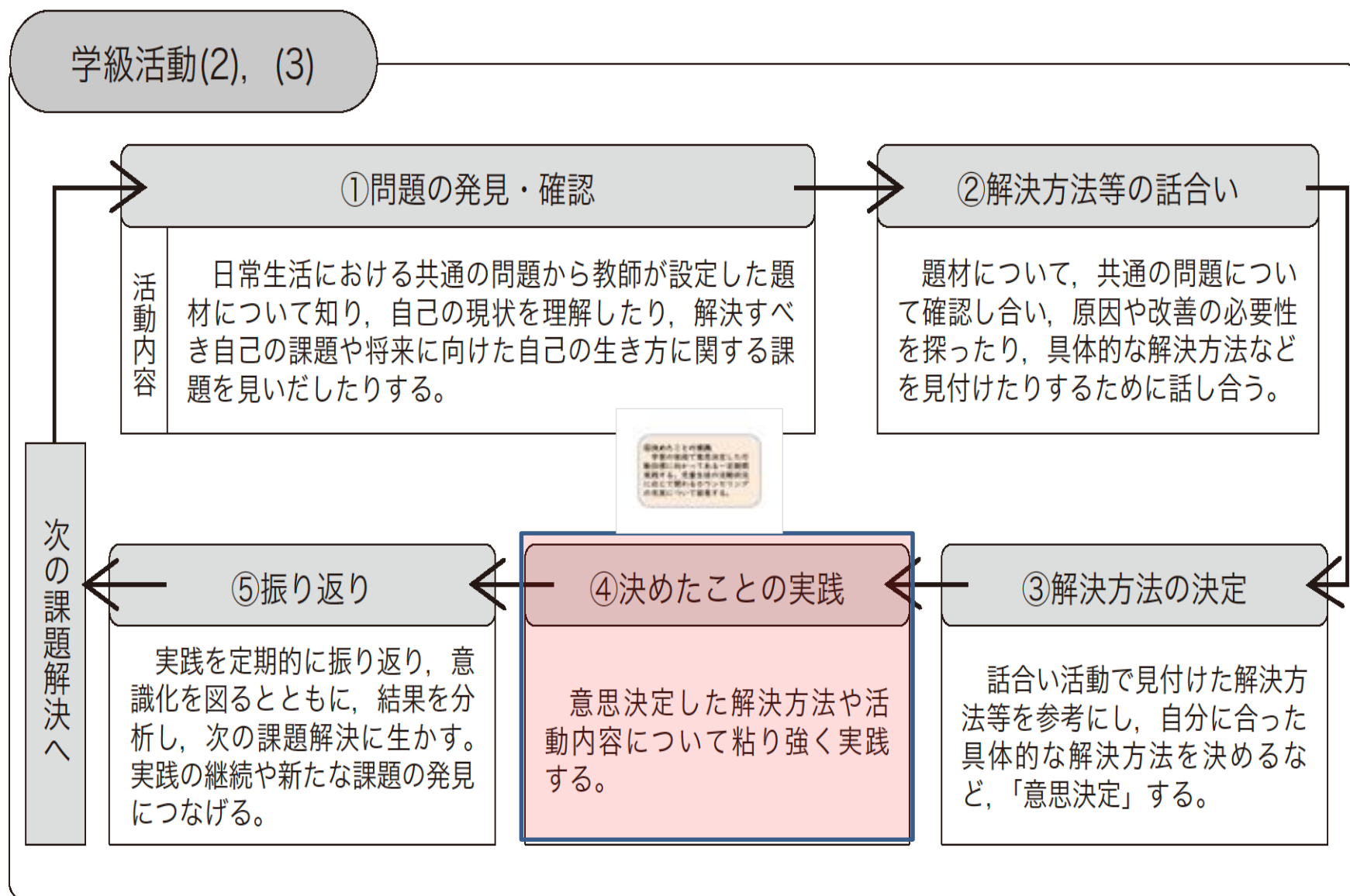
①問題の発見・確認

学級活動(2)HR活動(2)の問題「題材」は教師が指導計画から設定する。
児童生徒に課題意識を持たせるための工夫に留意する。



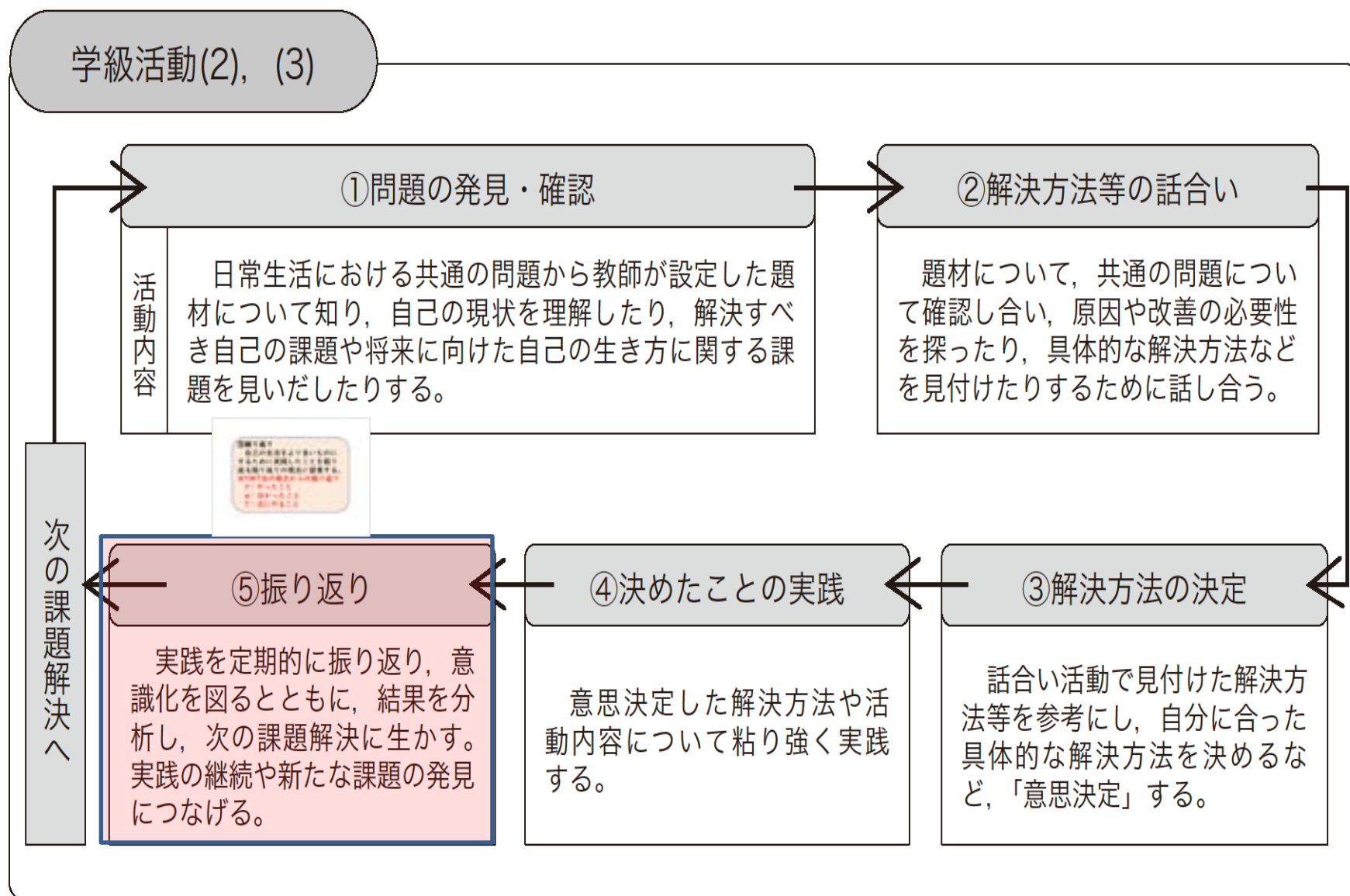
②③解決方法の話合い・決定

自己の生活課題について自主的に把握し，話合いによってより良い解決方法を見つけ，自主的に自分の目標を意思決定する学習の流れに留意する。



④決めたことの実践

学習の後段で意思決定した行動目標に向かってある一定期間実践する。児童生徒の活動状況に応じて関わるカウンセリングの充実について留意する。



⑤振り返り

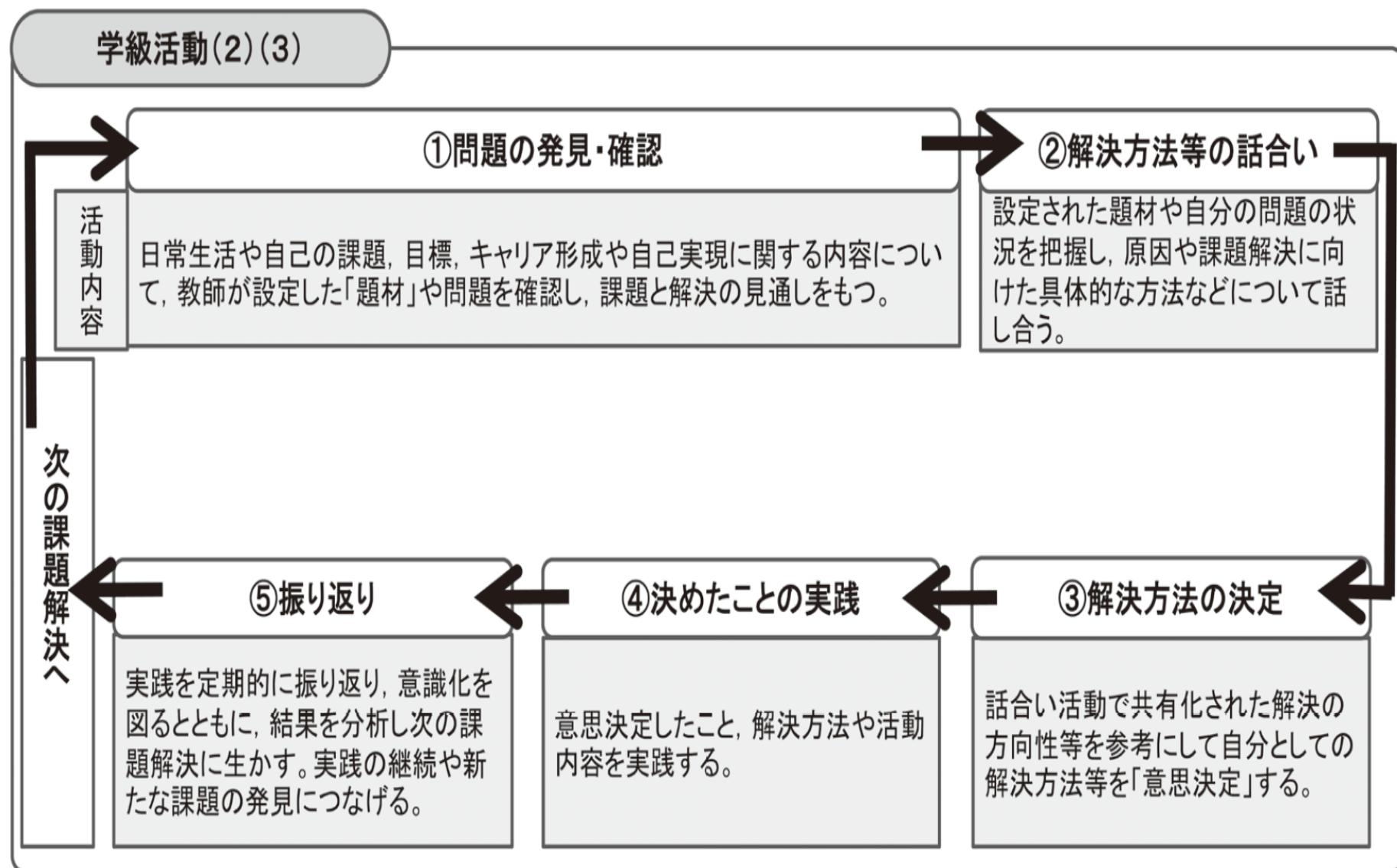
自己の生活をより良いものにするために実践したことを振り返る振り返りの視点に留意する。

※YWT法の視点からの振り返り

Y：やったこと

W：分かったこと

T：次にやること



4 学級活動(2)で進める食に関する指導

学級活動(2)の授業を考える時に参考となるもの

学級活動(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

生活上の課題をどう授業にするの？

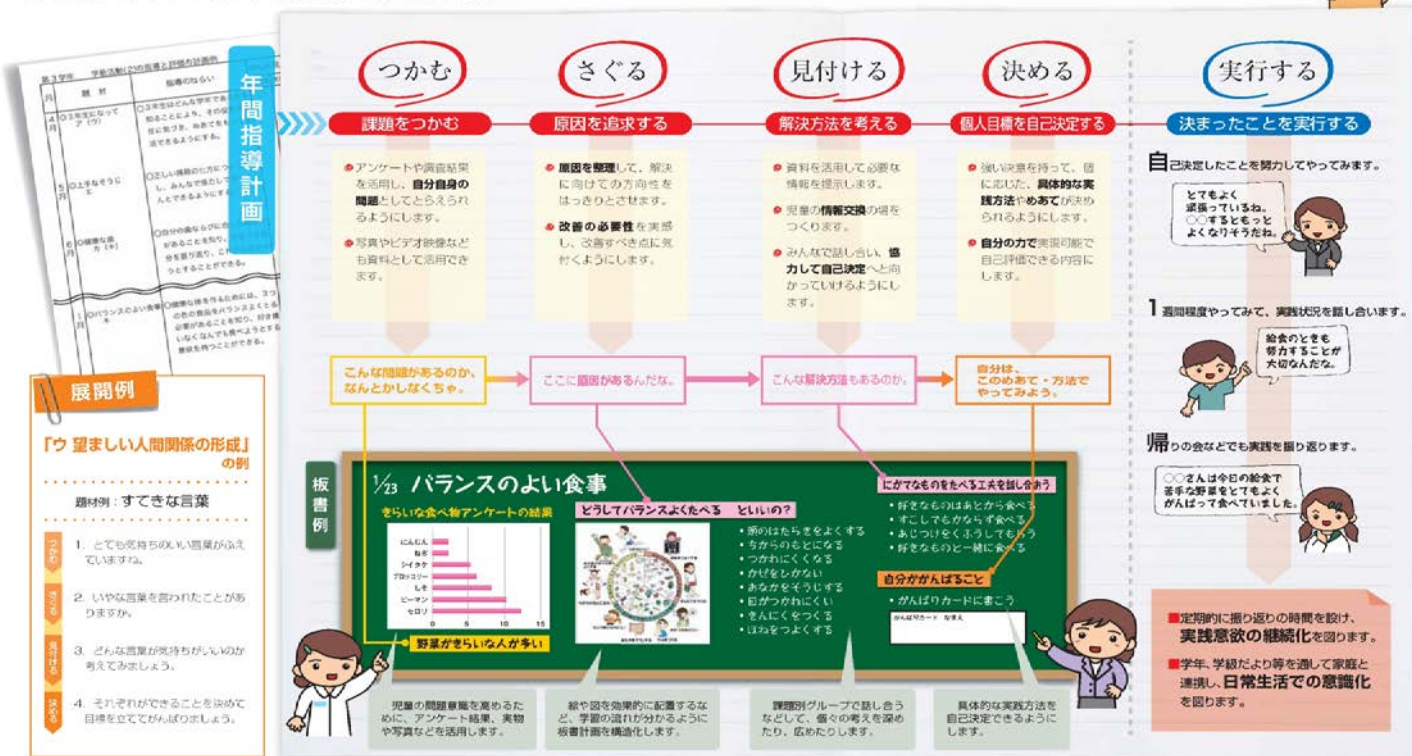
例えば「望ましい食習慣を形成する」ためには

キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

題材「バランスのよい食事」(3学年)を例に

日常生活上の課題は、始業前などに20分程度の時間を設け計画的に指導するとよいでしょう。その際に「こうしなさい」と教えるのではなく「あなたはどうするの」と問いかける指導をします。特に重要課題は45分間の授業として取り上げます。その際は、効果的な資料の活用、異議教師、栄養教師、学校保健職員、地域の調剤士などの協力的な指導の工夫が効果的です。

自分の生活を
もっとよくしたい



5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点:

題材名:

- ③ 本時学習で育成する資質・能力

- ① 知識・技能

- ② 思考力・判断力・表現力等

- ③ 学びに向かう力、人間性等

- ⑤ 本時学習のプラン (本時学習の流れ)

課題の把握<つかむ>

原因の追求<さぐる>

解決方法の話し合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ④ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか

- ② 問題意識をどのようにして高めるか

- ③ 授業ではどのような資料を作成するか

- ⑥ 事後の活動プラン (実践～振り返り)

- ① 決めたことの実践 (どのようにして実践に取り組ませるか)

- ② 振り返り (振り返りをどのようにさせるか)

- ③ 次の課題解決へ (どのように振り返り後から次の課題につなぐか)

脇田 (2019)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

- ① ここには，取り扱う食育の視点に関する児童生徒の実態を書きます。実態は，観察やアンケート調査，各種調査の結果等から明らかにします。

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点:

題材名:



- ③ 本時学習で育成する資質・能力

- ① 知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力等
- ③ 学びに向かう力、人間性等

- ④ 本時学習のプラン (本時学習の流れ)

課題の把握<つかむ>

原因の追求<さぐる>

解決方法の話合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ⑤ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか
- ② 問題意識をどのようにして高めるか
- ③ 授業ではどのような資料を作成するか

- ⑥ 事後の活動プラン (実践～振り返り)

- ① 決めたことの実践 (どのようにして実践に取り組ませるか)
- ② 振り返り (振り返りをどのようにさせるか)
- ③ 次の課題解決へ (どのように振り返り後から次の課題につなぐか)

脇田 (2019)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

② ここには、関連する食育の視点と学習する
題材名を書きます。

視 点：6つの視点から

題材名：体言止めで表記

例) 朝食の働き

バランスの良い食事

やさいのひみつ

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点:

題材名:

- ③ 本時学習で育成する資質・
① 知識・技能
② 思考力・判断力・表現力等
③ 学びに向かう力、人間性等



- ④ 本時学習のプラン (本時学習の流れ)

課題の把握<つかむ>

原因の追求<さぐる>

解決方法の話合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ④ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか
② 問題意識をどのようにして高めるか
③ 授業ではどのような資料を作成するか

- ⑤ 事後の活動プラン (実践～振り返り)

- ① 決めたことの実践 (どのようにして実践に取り組ませるか)
② 振り返り (振り返りをどのようにさせるか)
③ 次の課題解決へ (どのように振り返り後から次の課題につなぐか)

脇田 (2019)

5. 演習：食育プランニングシートを活用した授業づくり

③ ここには、本時学習で育成する資質・能力を書きます。

① 知識・技能

給食で食べている野菜の名前や形が分かる。

② 思考力・判断力・表現力等

給食で自分が食べている野菜をよく観察し、気づいたことを発表する。

③ 学びに向かう力，人間性等

野菜に興味関心をもち、これからもっと野菜を知ったり食べたりしようとする態度を養う。

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点:

題材名:

- ③ 本時学習で育成する資質・能力

- ① 知識・技能

- ② 思考力・判断力・表現力等

- ③ 学びに向かう力、人間性等

- ⑤ 本時学習のプラン (本時学習の流れ)

課題の把握<つかむ>

原因の追求<さぐる>

解決方法の話合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ④ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか

- ② 問題意識をどのようにして高めるか

- ③ 授業ではどのような資料を作成するか



- ⑥ 事後の活動プラン (実践～振り返り)

- ① 決めたことの実践 (どのようにして実践に取り組ませるか)

- ② 振り返り (振り返りをどのようにさせるか)

- ③ 次の課題解決へ (どのように振り返り後から次の課題につなぐか)

脇田 (2019)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

④ ここには、事前の活動プランを書きます。

① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか

※「好き嫌いをしない」という共通の課題でも「野菜が苦手」「魚が苦手」というように個々の児童が解決する課題がそれぞれにあるような課題をいいます。

② 問題意識をどのようにして高めるのか

※本時学習の課題意識をどのようなてだてで高めるのかを書きます。

③ 授業ではどのような資料を作成するのか

※つかむ段階：グラフ・紙芝居・ブラックボックス

決める段階：がんばりカード・学級会ノート

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点:

題材名:

- ③ 本時学習で育成する資質・能力

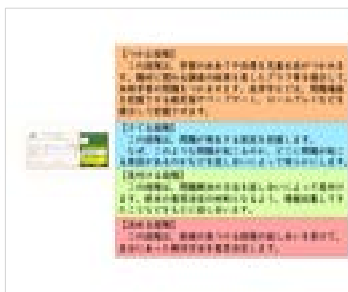
- ① 知識・技能

- ② 思考力・判断力・表現力等

- ③ 学びに向かう力、人間性等

- ⑤ 本時学習のプラン (本時学習の流れ)

課題の把握<つかむ>



原因の追求<さぐる>

解決方法の話し合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ④ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか

- ② 問題意識をどのようにして高めるか

- ③ 授業ではどのような資料を作成するか

- ⑥ 事後の活動プラン (実践～振り返り)

- ① 決めたことの実践 (どのようにして実践に取り組ませるか)

- ② 振り返り (振り返りをどのようにさせるか)

- ③ 次の課題解決へ (どのように振り返り後から次の課題につなぐか)

脇田 (2019)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

【つかむ段階】

この段階は、学習のめあてや目標を児童生徒がつかみます。題材に関わる調査の結果を表したグラフ等を提示して、本時学習の問題をつかませます。低学年などは、問題場면을把握させる紙芝居やペープサート、ロールプレイなどを提示して把握させます。

【さぐる段階】

この段階は、問題が発生する原因を把握します。
なぜ、このような問題が起こるのか、どこに問題が起こる原因があるのかなどを話し合いによって明らかにします。

【見付ける段階】

この段階は、問題解決の方法を話し合いによって見付けます。終末の意思決定の材料となるよう、情報収集してきたことなどをもとに話し合います。

【決める段階】

この段階は、前段の見つける段階の話し合いを受けて、自分にあった解決方法を意思決定します。



5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり



シャキット カード

なまえ()

あさごはんをまいにちたべるためにきめたこと

がんばりひょう

6月	27日	28日	29日	30日	7/ 1日
じふんで きめたことが できましたか？					
あさごはんを たべましたか？					

がんばったこと

おうちのかたから

せんせいから

ために

解決方法を見つける話合い

- ・他の食材と一緒に
- ・小さくして
- ・噛まずに飲み込む

自分にできる方法を見つける

- ・他の食材と混ぜて
- ・小さく切って食べる

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

第 学年 組 食育プランニングシート

- ① 児童生徒の食に関する課題
(指導計画に基づいて実施する内容にどのような課題があるか)

- ② 食育の視点と題材名
視点：

題材名：

- ③ 本時学習で育成する資質・能力

- ① 知識・技能

- ② 思考力・判断力・表現力等

- ③ 学びに向かう力、人間性等

- ④ 本時学習のプラン（本時学習の流れ）

課題の把握<つかむ>

原因の追求<さぐる>

解決方法の話し合い<見付ける>

個人目標の意思決定<決める>

- ④ 事前の活動プラン

- ① 個々の児童が解決すべき共通の課題を何にするか

- ② 問題意識をどのようにして高めるか

- ③ 授業ではどのような資料を作成するか

- ⑤ 事後の活動プラン（実践～振り返り）

- ① 決めたことの実践（どのようにして実践に取り組ませるか）

- ② 振り返り（振り返りをどのようにさせるか）

- ③ 次の課題解決へ（どのように振り返り後から次の課題につなぐか）



脇田 (2019)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

⑥ 事後の活動プラン（実践～振り返り）

① 決めたことの実践

※意思決定した行動目標の実現にどのように取り組ませるのか

② 振り返り

※どのように活動を振り返らせるのか

例) 活動後何日で振り返らせるのか

※どのような視点で振り返らせるのか

例) 自分が取り組んだことは何か

取り組んで分かった事は何か

次に挑戦したい事は何か

③ 次の課題解決へ

※振り返り後に取り組ませる事

例) 目標の修正・目標の変更

※一人一人の課題の達成状況に応じて関わる
(カウンセリングの充実)

5 演習 食育プランニングシートを活用した授業づくり

◆演習題

小学校：児童の発達の段階を考えながら，次の題材で学級活動(2)の授業を食育プランニングシートで構築してみましょう。

※題材「大切な朝食」

中学校：食に関するリスクの時間的な遠隔性ができる中学生の発達段階を考えながら，次の題材で学級活動(2)の授業を食育プランニングシートで構築してみましょう。

※題材「受験期を乗り越える朝食」